

もよおし

22日(木)

10:00~10:30 ギャラリートーク各担当者による解説

13:00 コーラス(しながわコーラスたんぽぽ)

13:20~13:50 小島義一さんを偲ぶDVD「知っていますかあの戦争のこと 品川が焼け野原になった」

語り合おうあの戦争のこと

23日(金)

10:30~30 平和を考える本

13:00 コカリナ演奏(しながわコカリナアンサンブル)

13:20DVD 戦後79年いまだ終わらない戦争 放置されてきた戦争被害者の訴え(全国空襲連)13分

戦争体験を語る

24日(土)

10:30~11:00 人形劇「沖縄の昔話と人形のエイサー」(人形劇団みちくさ)

13:00 紙芝居の昔と今「かのっちものがたり」 若月和子さん他

13:40 戦争の語り「ランドセル地蔵」佐藤繁子「シベリアからの帰還」斎藤美智子

14:00 飛び出す絵本「みねおくんのなつ」西條明子

24日

17:00~17:30 報告「若者が見てきた沖縄」民青品川

17:30~19:30 講演 金子勝(立正大学名誉教授)

「平和は、戦争からではなく「対話」から生まれる

—憲法第9条は21世紀の人類の「導きの星」

—憲法のかたりべになろう—

25日

13:00~13:45 原水爆禁止世界大会報告「平和の道をひらこう!」

伊藤響子・映像 熊谷

14:00~15:00 沖縄の歌と三線(照屋三線ファミリー)

2024年 第40回

しながわ平和のための戦争展

—戦争ではなく平和の道を—

入場無料

日時: 8月22日(木)~25日(日) 10:00~17:00

(最終日 16:00)

24日(土) 17:00~19:30 講演会

第40回開催にあたって

8月になると流される当時の戦争の映像は、今日のウクライナやガザと重なり、戦争を知らない世代でも戦争の悲惨さ、残虐さを思い知らされています。特に多くの戦争の犠牲者は子どもや女性そして高齢者です。かつての戦争の傷痕は79年経った今日でも癒えないことを知らされました。戦争を始めたら終結がいかに難しいかも、今、教えられています。第1回「しながわ平和のための戦争展」は1984年に「戦争の恐ろしさ」と平和の大切さを「伝え合う場」として開催し40回目を迎えます。今こそ、過去の戦争から学び、現実をしっかりと見つめ、「戦争ではなく平和の道を」一人一人ができることを考えたい。

しながわ平和のための戦争展実行委員会 2024年8月



過去の戦争から学ぶ—学童疎開80年、子どもの暮らしと戦争—

学童疎開はなんだったのか

戦争末期になると都市の3年生以上の子は学童疎開で全国各地へ。島しょの住民と子どもは本土へ疎開しました。沖縄からの疎開船は100人以上を載せ、米軍の魚雷にやられて沈没しました。

品川区では、旧品川区は現在の多摩地域へ。旧荏原地区は富山、静岡へ。静岡へ行った子どもたちは更に青森へ再疎開しました。その様子を品川区は児童の絵と作文で。荏原地区は中村立行氏の写真と学校週年誌から展示します。「二度と疎開などしたくない」と経験者は語ります。想像してみてください。

子どもたちの暮らし・学校・遊びすべてが戦争のために

学校生活・遊びは？具体物から想像してください。

品川を焼きつくした城南空襲と戦後の暮らしー 1945年5月24日の空襲は、3月10日を超える大量の焼夷弾を落して品川を焼け野原にしました。様々な地域の方の証言、中延在住だった小島義一さんが描いた絵と現在をたどりながら考えます。焼け野原になった土地にはバラックが立ち、防空壕で暮らす家族、学校の校庭にもバラックが建っていました。

城南空襲焼け跡歩き一品川には慰霊碑がない

私たちは、2年かけて区内の5コースに分けて歩きました。焼け残ったものから、またなくなってしまったものを想像しました。大きい被害を出した品川に空襲の慰霊碑がないことに気づきました。大田区にも港区にもあるのに。戦後80年の機会にぜひ作ってほしいと考えています。皆さんの協力を求めます。

戦争は性暴力を作り出す

「戦争が人権、中でも女性の人権を踏みにじる」ことを「慰安婦」問題を通してお伝えしようと、今年も展示します。日本人「慰安婦」のことは、あまり知られていません。私たちは今年2月に吉川春子さん(「慰安婦」問題とジェンダー平等ゼミナール)を講師に学習会を行いました。その講演を基に今回の展示内容を構成しました。

「慰安婦」問題は今もジェンダーの不平等につながって

改めて憲法を自分のものとして学び取ろう！

岸田首相は自民党総裁選不出馬を決めましたが、改憲発議の実現を焦っています。日本国憲法を擁護順守する義務が内閣、国会議員にはあります。自民党政権による改憲案提出は、憲法第99条違反が明白です。改憲発議をストップし、「戦争する国 NO!」の民意を示すために、「いま、改めて憲法を自分のものとして選び取り」しましょう。現憲法前文と自民党改憲草案(2012年)前文を声に出して読み比べると、改憲の黒い狙いが明らかに分かります。

ここまで来ている戦争準備ー本土から沖縄まで

ウクライナ、パレスチナ=現代の戦争。それを口実に準備されている未来の戦争=「台湾有事」。既に南西諸島に続々と自衛隊基地が建設されミサイルが運び込まれています。日本全土でも弾薬庫建設、出撃基地の整備が……。その実態を知り、戦争でない平和の道=「会議外交」で平和を守ってきたASEAN(東南アジア諸国連合)に学びましょう！

核兵器と戦争のない未来めざして

核兵器禁止条約採択から7年。今ほど私たちが平和を強く願うことはない。世界のあちこちで戦争状態にあるために、親を亡くし、家を壊された子ども達の泣き叫ぶ姿を何度も映像で見ました。これから先、核兵器を使うようなことがあってはならない。人間の住めない地球にしないために。人が作り出した核兵器を私たちがなくすことが重要だと思う。日本でも世界でも多くの人々が頑張っている。私達も行動し、皆さんに知ってもらいたいと思う。

平和のために声をあげよう

地域で、「たたかいではなく平和の道を」と声をあげる市民がいます。二度と「いつの間にか戦争になってしまった」ということにならないように、自分ができる行動を。「戦争だけはダメ」と声をあげ続けましょう。地域の行動を表示します。

平和の願いをアートであらわす

戦前、特高警察は戦争に少しでも異論言う人を隣組を利用し監視と密告を進め逮捕投獄しました。また、小説や俳句など文化に対しても弾圧し逮捕しました。この戦前の苦い体験から、二度と言論表現の自由を手放さないため、ここに平和をテーマとしたアート、書道と俳句等を展示しました。

展示内容と催しはHPで公開します。二次元バーコードをクリックしてご覧ください。

HP <https://heiwannotameno.net/>

問い合わせは mail@heiwannotameno.net まで

